

# クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔感染管理部門〕

## 指標名

MRSA 新規院内発生率

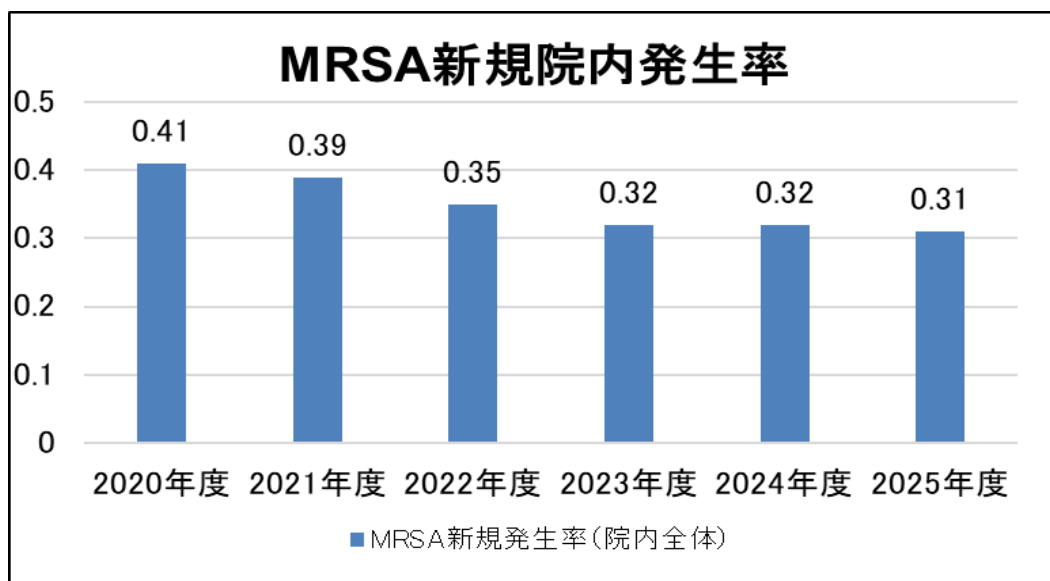
## 目標・ゴール

MRSA 新規院内発生率の低減を通じて、院内における薬剤耐性菌の発生および伝播を抑制し、医療関連感染の予防強化を図る。

## 目標・ゴール達成による効果

医療関連感染の発症を抑制することで、感染症治療による入院期間の延長や重症化を防止し、患者の早期回復および円滑な退院・社会復帰の促進につながる。また、安全で質の高い医療の提供および院内感染対策体制の強化に寄与する。

## 目標・ゴールに対する成果の状況



## 当院の定義・算出方法

$$\frac{\text{分子：MRSA発生率（持ち込み症例は除く）}}{\text{分母：在院総患者数}} \times 1000 (\%)$$

※入院後、48時間以降に採取された検体からMRSAが検出されたもの（分子）

※「‰（パーミル）」千分率で表しています

## 目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

- S :大幅に目標を上回った
- A<sup>+</sup>:目標を多少上回って達成
- A :目標を達成
- B<sup>+</sup>:目標を少し下回った
- B :目標を下回った
- C :目標を大幅に下回った
- :外的要因により継続困難となった。

## 目標・ゴールの課題・改善策

急性期医療の特性上、重症患者や侵襲的医療の増加に伴い、MRSAを含む薬剤耐性菌の発生および拡大リスクは継続している。今後も院内サーベイランスの継続、標準予防策および感染経路別予防策の徹底、手指衛生遵守の推進、抗菌薬適正使用支援の強化を行い、「薬剤耐性菌をつくらない・拡げない」感染対策活動を継続し、MRSA新規院内発生率の低水準維持およびさらなる低減を目指す。